

農畜水産物等の放射性物質検査計画の概要（宮城県）

1 期間 平成25年度第3四半期（10月～12月）

2 検査計画概要

分類	品目数	検査頻度	総検体数	検体採取 市町村数 (予定も含む)
出荷前もしくは出荷時に検査を行う食品				
野菜類	13	週1回	570 検体	全市町村
果実類	3	出荷前	30 検体	出荷市町村
きのこ・山菜類	10	週1回 (随時)	110 検体	全市町村
畜産物	1	週5回	6,000 検体	全市町村
野生鳥獣肉	4	期間内	50 検体	県内全域
乳	1	週1回	65 検体	全市町村
穀類	3	出荷前	32,320 検体	全市町村
海産魚種	27	週1回以上 (随時)	1,140 検体	県全域
内水面魚種	5	週1回以上 (随時)	60 検体	県全域
その他	—	—	—	—
小計	67	—	40,345 検体	—
市場に流通している食品				
生鮮品又は加工品	24	週1回	102 検体	—
計	91	—	40,447 検体	—

農畜水産物等の放射性物質検査計画（平成25年度第3四半期分）

宮 城 県
平成25年10月 1日

「農畜水産物等の放射性物質検査について」（平成25年3月19日付け食安発0319第2号厚生労働省医薬食品局食品安全部長通知，以下「検査通知」という。）に基づき，県内で生産される農産物，林産物，畜産物，水産物，野生鳥獣及び県内で販売される食品の検査計画を下記のとおり策定しましたのでお知らせします。

記

1 検査対象品目

検査通知の別紙の3に掲げる品目のうち，県内で生産され，又は販売される次の食品

(1) 農産物

下記品目のうち，計画期間に収穫期を迎える品目

ア 基準値を超える放射性セシウムが検出された品目

果実類（露地物を優先して選択）

ユズ，ブルーベリー

イ 国民の摂取量を勘案した主要品目

(ア) 淡色野菜類

ダイコン，キャベツ，ハクサイ，タマネギ，キュウリ

(イ) 緑黄色野菜類

ニンジン，ほうれんそう，トマト

ウ 生産状況を勘案した主要品目

いちご，なす，そらまめ，こまつな，みずな，しゅんぎく，レタス，ブロッコリー，ねぎ，こねぎ，にら，えだまめ，つるむらさき

エ その他

穀類（米，麦類，大豆，そば）及び茶については，個別計画により対応する。

(2) 林産物

下記品目のうち，計画期間に収穫期を迎える品目

ア 基準値を超える放射性セシウムが検出された品目（露地物を優先して選択。栽培物を含む。）

原木しいたけ（露地栽培及び施設栽培），原木なめこ（露地栽培），原木くりたけ（露地栽培），原木ひらたけ（露地栽培），原木むきたけ（露地栽培），原木ぶなはりたけ（露地栽培），野生きのこ類，あけび，うわばみそう（みず），くさそてつ（こごみ），くるみ，こしあぶら，さんしょう，せり，ぜんまい，たけのこ，たらのめ，花わさび，ふき，ふきのとう，もみじがさ（しどけ），やまぐり，わらび

イ 基準値の1/2を超える放射性セシウムが検出された品目（アに掲げる品目を除く。）（露地物を優先して選択。栽培物を含む。）

ジネンジョ，原木まいたけ（露地栽培），菌床しいたけ（施設栽培），菌床な

めこ（施設栽培）、菌床まいたけ（施設栽培）、行者にんにく、ねまがりたけ、またたび、わさび（葉）、わさび（根茎）

ウ 国民の摂取量を勘案した主要品目等

菌床しいたけ、菌床えのきたけ、乾しいたけ

（3）畜産物

ア 原乳

県内の5箇所のクーラーステーション（集乳所）からそれぞれ採取した原乳について検査を行う。

イ 牛肉

「出荷・検査方針」（平成23年8月19日原子力災害対策本部長へ提出）に基づき、肥育牛及び乳用種廃用牛等の出荷時検査を行う。（ただし、乳用種廃用牛については事前に生体検査を実施する。）

（4）水産物

下記品目のうち、計画期間に漁獲される海産魚種及び内水面魚種

ア 基準値の1/2を超える放射性セシウムが検出された品目

（ア）海産魚種

アジ類、ヒラメ、カレイ類（2群）、アイナメ、メバル・ソイ・カサゴ類（2群）、サメ・エイ類、マダラ、スケソウダラ・エゾイソアイナメ、アンコウ類、ホウボウ類・ニベ・グチ類・トクビレ類、タイ類（クロダイ類除く）・マトウダイ類・クロダイ類・ウミタナゴ、スズキ、フグ類、アナゴ類、マゴチ、イカナゴ（親）、ウニ類、

（イ）内水面魚種

ワカサギ、イワナ・ヤマメ・マス類、コイ類・フナ類・ウグイ・モツゴ類・ドジョウ、ウナギ、アユ、バス類、無脊椎動物

イ 生産状況を勘案した主要品目

海産魚種

イカナゴ稚魚・イワシ類の稚魚、シラウオ類、イワシ類・サバ類、ブリ類、ギス・アオメエソ・イシナギ類、タチウオ、シロギス、ギンザケ、甲殻類、貝類、海藻類、イカ・タコ類

（5）野生鳥獣

下記品目のうち計画期間に捕獲される野生鳥獣の肉類

基準値を超える放射性セシウムが検出された品目

イノシシ、カルガモ、キジ、ツキノワグマ、ニホンジカ、マガモ、ヤマドリ等

（6）食品

本県において流通している食品（生産者及び製造・加工者の情報が明らかなもの）（乾燥きのこ類、乾燥海藻類、乾燥魚介類、乾燥野菜類及び乾燥果実類等乾燥して食用に供されるもの（水戻しして基準値（100Bq/kg）が適用される食品を除く。）等の加工品を含む。）

2 検査対象市町村等の設定

（1）基準値を超える放射性セシウムを検出した品目の検査

ア 平成24年4月以降，県内で基準値を超える放射性セシウムが確認された品目

当該品目から基準値の1/2を超える放射性セシウムを検出した地域及び主要な産地において市町村ごとに3検体以上実施する。

その他の市町村では1検体以上実施する。

イ 平成24年4月以降，県内で基準値の1/2を超える放射性セシウムが確認された品目（アを除く。）

当該品目から基準値の1/2を超える放射性セシウムを検出した地域において市町村ごとに3検体以上実施する。

その他の市町村では1検体以上実施する（県内を市町村を越えて複数の区域に分割し，区域単位で3検体以上実施することもできる。）

(2) 基準値の1/2を超える放射性セシウムを検出した品目の検査

平成24年4月以降，県内で基準値の1/2を超える放射性セシウムが確認された品目について，当該品目から基準値の1/2を超える放射性セシウムを検出した地域においては市町村ごとに3検体以上，その他の地域においては市町村ごとに1検体以上（県内を市町村を越えて複数の区域に分割し，区域単位で3検体以上とすることもできる。），それぞれ実施する。

(3) 検体採取を行う地点の選択に当たっては，土壤中のセシウム濃度，環境モニタリング検査結果，23年産及び24年産の当該品目の検査で基準値の1/2を超える放射性セシウムを検出した地点等を勘案するとともに，放射性セシウム濃度が高くなる原因の一部が判明している品目については，当該要因が当てはまる地点を優先して選択する。

(4) 水産物については，本県沖合海面を7つの海域に区分し，同様に実施する。

3 検査の頻度

週1回程度（ただし，品目の生産・出荷等の実態に応じて検査を実施するものとする。）

農産物，野生のきのこ・山菜などのように収穫時期が限定されている品目については収穫の段階で検査を実施する。

水産物については，原則として週1回程度とし，漁期のある品目については，漁期開始前に検査を実施し，漁期開始後は週1回程度の検査を継続する。

ただし，基準値を超える又は基準値に近い放射性物質が検出された場合は検査頻度を強化する。

4 検査計画及び検査結果の公表

検査計画及び検査結果については，県ホームページ（放射能情報サイトみやぎ）で公表する。

5 検査結果に基づく措置

(1) 出荷前の農産物，林産物，畜産物及び水産物等については，基準値を超えた場合は出荷の自粛を要請し，市場に流通させない措置をとる。

(2) 基準値を超えた食品については，食品衛生法により廃棄，回収等の必要な措

置をとる。

なお、加工食品が基準値を超えた場合には、食品衛生法による措置のほか、原因を調査し、必要に応じ原料の生産地におけるモニタリング検査の強化等の対策を講じる。

6 出荷制限後の検査計画の見直し

原子力災害対策本部より出荷制限の指示が出た品目・区域については、検体の採取が可能な品目については、継続して検査を実施し、実態を把握することとする。

※農畜水産物等の検査計画の詳細は別紙のとおりです。

(別紙)

県内農畜水産物等の放射性物質検査計画【平成25年度第3四半期分】

宮 城 県

区分		月別種別計画			備考	
		10月	11月	12月		
農産物	穀類	米* 大豆 ソバ (31,335点程度)	大豆 ソバ (805点程度)	大豆 (180点程度)	米*: 簡易検査(ベルトコンベア検査)含む	
	野菜類・果実類	ホウレンソウ コマツナ ダイコン サトイモ ブロッコリー ハクサイ リンゴ カブ レタス 等 (200点程度)	ホウレンソウ コマツナ ハクサイ リンゴ ツボミナ シュンギク ネギ カキ ユズ 等 (200点程度)	ホウレンソウ コマツナ シュンギク ユキナ イチゴ 等 (200点程度)		
林産物	きのこ類	菌床しいたけ 原木しいたけ 原木なめこ まつたけ 野生きのこ(40点) (57点程度)	菌床しいたけ 菌床なめこ 菌床まいたけ 野生きのこ(40点) (45点程度)	菌床しいたけ 菌床なめこ 菌床はたけしめじ 菌床まいたけ 原木しいたけ (6点程度)		
	山菜類	ぎんなん (1点程度)	葉わさび (1点程度)			
畜産物		原乳 (25点)	原乳 (20点)	原乳 (20点)		
		牛肉 1,700頭 (出荷牛全頭)	牛肉 2,400頭 (出荷牛全頭)	牛肉 1,900頭 (出荷牛全頭)	H24.10-12の県内と畜実績を根拠	
水産物	海産魚種	表層	カタクチイワシ マイワシ サバ類 マアジ サンマ	カタクチイワシ マイワシ サバ類 マアジ サンマ	カタクチイワシ マイワシ サバ類 マアジ サンマ	
		中層	スズキ アイナメ ソイ メバル マダイ クロダイ ヒガンフグ スルメイカ ヤリイカ	スズキ アイナメ ソイ メバル マダイ クロダイ ヒガンフグ スルメイカ ヤリイカ	スズキ アイナメ ソイ メバル マダイ クロダイ ヒガンフグ スルメイカ ヤリイカ	
		底層	ヒラメ類 カレイ類 タラ類 アナゴ類 キチジ エゾアイナメ ケムシカジカ タコ シヤコ	ヒラメ類 カレイ類 タラ類 アナゴ類 キチジ エゾアイナメ ケムシカジカ タコ シヤコ	ヒラメ類 カレイ類 タラ類 アナゴ類 キチジ エゾアイナメ ケムシカジカ タコ シヤコ	
		貝類	アカガイ(もしくはアサリ) ツブガイ キタムラサキウニ	アカガイ(もしくはアサリ) ツブガイ キタムラサキウニ	アカガイ(もしくはアサリ) ツブガイ キタムラサキウニ	
		海藻類	ノリ (380点程度)	ノリ (380点程度)	ノリ (380点程度)	
		内水面魚種				
	下流域	ウグイ アユ ウナギ	ウグイ アユ ウナギ	ウグイ アユ ウナギ		
	上流域	イワナ ヤマメ (20点程度)	イワナ ヤマメ (20点程度)	イワナ ヤマメ (20点程度)		

